

船舶事故等調査報告書

平成21年12月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009函第58号	
事故等種類	転覆	
発生日時	平成21年8月30日（日） 06時10分ごろ	
発生場所	北海道函館市大鼻岬の南方5.2海里付近 (概位 北緯41°39.1′ 東経140°42.0′)	
事故等調査の経過	平成21年8月31日、本事故の調査を担当する主管調査官（函館事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	モーターボート チャンピオン、4.41m(Lr)	
船舶番号、船舶所有者等	200-14528北海道、個人所有	
乗組員等に関する情報	船長、二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士	
死傷者等	なし	
損傷	船外機及び電気系統が濡損	
事故等の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、3人を乗せ、函館市函館漁港を出航し、大鼻岬の南方5.2海里付近において、船首を北～北東に向けて漂泊して釣りをしていたところ、甲板後部に踵の高さまで海水が溜まったため、危険を感じた船長が本船を発進させようとして、操縦席後方の椅子から操縦席に移動する途中、平成21年8月30日06時10分ごろ、船体が左舷側に大きく傾き、そのまま転覆した。</p> <p>船長及び同乗者3人は海に投げ出されたが、全員が救命胴衣を着用しており、付近で釣りをしていた遊漁船に直ちに救助されたため、負傷者はいなかった。</p> <p>本船は、遊漁船からの通報を受けた海上保安庁の巡視船により、函館港にえい航された。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 ほとんどなし、視界 良好</p> <p>海象：波高 波はほとんどなく、海上は穏やかであった。</p>	
その他の事項	<p>本船は、船尾部に船底まで達する空所があり、空所右舷側にバッテリーが、左舷側に燃料タンクが備えられていた。</p> <p>本船は、平素、函館漁港に係留されており、出航前、船長により船尾空所に浸水がないこと、船底弁が締まっていることが確認されていた。</p> <p>船体には、浸水箇所と考えられるき裂等は生じていなかった。</p> <p>気象・海象は穏やかで、船内に波が打ち込むことはなかった。</p> <p>甲板船尾側左右端にある排水口は閉塞していなかった。</p> <p>本船は、最大搭載人員6人で、船内には重量物は持ち込まれていなかった。</p>	
分析	乗組員等の関与	不明
	船体・機関等の関与	不明
	気象・海象の関与	なし

	<p>判明した事項の解析</p>	<p>本船は、甲板後部に海水の滞留があったことから、船尾空所に、何らかの理由により海水が浸入した可能性があると考えられるが、その状況は明らかにすることはできなかった。</p> <p>本船は、船尾空所に海水が浸入し、浮力及び復原力が著しく減少した状態となった際、船長が移動したことにより、バランスを崩して転覆するに至った可能性があると考えられる。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、大鼻岬南方沖において、本船が漂流して遊漁中、船尾空所に海水が浸入し、浮力及び復原力が著しく減少した状態となった際、船長が移動したため、バランスを崩して、転覆したことにより発生した可能性があると考えられる。</p>	